

## 令和4年度事業報告

### I 法人の概況（令和5年3月末日時点）

#### 1 設立年月日

平成12年6月26日（任意団体設立：平成6年2月12日）

#### 2 定款に定める目的

本会は、介護福祉士の職業倫理及び専門性の確立、介護福祉に関する専門的教育及び研究の推進並びに介護に関する知識の普及を図り、介護福祉士の資質及び社会的地位の向上に資するとともに、国民の福祉の増進に寄与することを目的とする。

#### 3 定款に定める事業内容

- （1）介護福祉士の職業倫理並びに専門的知識及び技術の向上に関する事業
- （2）介護福祉に関する調査研究に関する事業
- （3）介護福祉士教育機関その他関係団体との連携及び協力に関する事業
- （4）介護福祉の普及啓発に関する事業
- （5）介護福祉士の相互福祉に関する事業
- （6）その他本会の目的を達成するために必要な事業

#### 4 所管官庁に関する事項

内閣府大臣官房公益法人行政担当室（厚生労働省社会・援護局福祉基盤課）

#### 5 会員の状況

種類	当 期		前期比増減
正 会 員 (※)	内 訳	年会費入金者数	36,653名 2,707名減
		年会費未納者数	874名 37名増
	賛助会員	10団体	2団体減
名誉会員	—		—

※ 令和4年度年会費を納付して退会手続をした者を除く

#### 6 主たる事務所の状況

事務所：東京都文京区後楽1丁目1番13号 小野水道橋ビル5階

#### 7 役員等に関する事項（資料1）

#### 8 職員に関する事項

職 員 数		前期末比増減
男子	7名	2名増
女子	4名	1名増
合計	11名	3名増

※ 他に有期労働契約社員10名

## II 事業の状況

### 1 各種研修会の開催及び学術研究活動の推進

#### (1) 日本介護福祉士会会員（日本介護学会会員）等が広く参加する研修

##### ① 全国大会・日本介護学会の開催

コロナ禍の影響を踏まえ、令和4年度は日本介護福祉士会が神奈川県介護福祉士会との連携のもと、介護福祉士等の研究意欲を高めるとともに、介護福祉の実践場面での知識・技術の向上を図るため、ハイブリットで開催した。

テーマ	開催日	開催場所	参加登録者
逃げる・生きる・整える	4.10.19(水) ・20(木)	大さん橋ホール・ オンライン	551名

新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、開催も危ぶまれたが、何とか開催でき、WEBを活用した参加者アンケートでも好評を得ることができた。

#### (2) 総合的なキャリアパスを目的とする研修

##### ① 生涯研修体系の軸となる研修の推進

###### ア 介護福祉士基本研修

介護職チームの中核として、根拠に基づく質の高い介護福祉の実践ができる介護福祉士を育成するため、介護福祉士資格取得後の実務経験2年未満の者を対象とした当該研修を、全国の都道府県介護福祉士会で開催できるよう、研修開催のための事務実施要領の共有を図るとともに、研修テキストや講師マニュアルを提供した。

その結果、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、36の都道府県介護福祉士会において当該研修が実施され、新たに511名を超える方が当該研修を修了した。

###### イ ファーストステップ研修

小規模の介護職チームのマネジメントや、初任者等の指導ができる介護福祉士を育成するため、介護福祉士資格取得後の実務経験2・3年程度の者を対象とした当該研修を、全国の都道府県介護福祉士会で開催できるよう、事務運営マニュアルの共有を行うとともに、当該研修修了者の質の担保を図るため、修了課題の査読を行い、修了証の交付を行った。

その結果、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、35の都道府県介護福祉士会において当該研修が実施され、新たに220名を超える方が当該研修を修了した。

##### ② 認定介護福祉士の仕組みの推進

小規模な介護職チームのリーダーを取りまとめるリーダーとして、マネジメントや地域における機関間連携の促進等を行うことができる介護福祉士を育成するための本研修を推進するため、研修の実施を検討している介護福祉士会に対して、認定介護福祉士認証・認定機構への科目認証申請手続等に係る相談支援などを行った。

また、当該研修を実施するための準備方法等に係る勉強会を開催したほか、当該研修の開催に関心のある都道府県介護福祉士会等を対象とした個別の対応をするなどした。

さらに、質の担保されている認定介護福祉士をより多く輩出するための具体的な方策等に係る検討を進めるとともに、オンラインによる研修実施基準の策定、研修の認証申請様式の見直し等を進めた。

その結果、8道府県介護福祉士会において当該研修が実施された。

### ③ 生涯研修体系に位置づく研修の講師養成研修（リーダー研修）の実施

全国の都道府県介護福祉士会で研修講師を務めるリーダーを育成することを目的として、介護福祉士基本研修、ファーストステップ研修等の講師養成研修を実施した。

その結果、新型コロナウイルス感染症の影響により一部研修の実施を中止としたものの、都道府県介護福祉士会において、今後、研修講師を担うことが想定される人材の養成を行った。

開催年月日	開催方法	修了人数
前期講師養成特別講座		
4. 9. 15(木)、23 (金)、24(土)	オンライン	24名
4. 11. 23(水)、24 (木)、25(金)	直接集合（N L C セントラルビル会議室）	8名
サービス提供責任者研修講師養成		
4. 12. 3 (土)、8 (木)、9 (金)	オンライン及び直接集合（別館内海ビル）	(中止)
ファーストステップ研修講師養成		
5. 2. 17(金)、25(土)、26(日)	オンライン及び直接集合（内海・本館東京学院ビル）	11名
介護福祉士基本研修講師養成		
5. 3. 7 (火)、22(水)、23(木)	オンライン及び直接集合（N L C セントラルビル会議室）	8名

### ④ その他

#### ア 厚生労働省の補助事業等で開発したチームリーダー研修

平成 29 年度及び平成 30 年度に開発した、介護福祉士に求められる役割を担うことができる能力を培う研修プログラムについて、その趣旨や目的等を、ブロック単位で実施した全国都道府県介護福祉士会会長会議で説明・共有した。

その結果、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、マネジメント力を培う研修を 2 県介護福祉士会において実施され、71 名が当該研修を修了した。

#### イ 中核人材育成導入プログラム（モデル研修）

介護現場における介護ロボット・ICT利活用の促進は、必須の課題であるものの、そのためには、介護職を対象とした介護ロボットやICTに対する不安を払しょくする必要があることを踏まえ、モデル研修を実施し、69 名が当該研修に参加した。

日時；令和 5 年 2 月 18 日（土）9 時 30 分から

開催方法；オンライン

対象者；日本介護福祉士会会員等

プログラム；介護ロボット・ICTの導入状況と最新の行政動向（宮本隆史（社会福祉法人善光会））

介護現場の生産性向上と介護ロボット・ICTの導入手順（舟田伸司常任理事）

グループディスカッション（テーマ；あなたならどのように活用しますか？）

### （3）職能的研修

#### ① 倫理に関する研修

介護福祉士として、介護サービスの利用者の人権や尊厳を守り、業務を執り行うために必要な倫理について学習し体得するための研修を、全国の都道府県介護福祉士会で開催いただけるよう呼びかけを行った。

その結果、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったが、17 府県介護福祉士会において当該研修等が実施された。

#### ② 介護福祉士の職能を高める各種研修

##### ア 介護福祉士実習指導者講習会

介護福祉士養成課程における介護実習をより効果的なものとするため、質の担保された実習指導者を育成するため、共通のテキストを活用した当該研修を、全国の都道府県介護福祉士会で開催できるよう、事務説明資料を作成し、これを共有した。

その結果、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、45 都道府県介護福祉士会において当該研修が実施され、新たに1,583名を超える方が当該研修を修了した。

##### イ サービス提供責任者研修

質の担保されたサービス提供責任者を育成する必要性から、当該研修を全国の都道府県介護福祉士会で実施いただけるよう、研修テキストを整備し、研修の実施要領を全国の都道府県介護福祉士会で共有した。

その結果、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、17 府県介護福祉士会において当該研修が実施され、新たに282名が当該研修を修了した。

##### ウ 介護職種の技能実習指導員講習

介護職種の技能実習生の技能の修得等が円滑に図られるよう、介護現場で技能実習生の指導に当たることになる技能実習指導員等を対象とした「介護職種の技能実習指導員講習」を開催した（厚生労働省補助事業を活用）。

その際、全国の都道府県介護福祉士会の協力を得て、計65回の当該研修を実施し、新たに1,790名が新たに当該講習を修了した。

##### エ 災害ボランティア基本研修

発災時に行政等からの支援要請に適切に対応できる災害時のボランティアを養成するため、共通のテキストを活用した当該研修を、全国の介護福祉士会で開催いただけるよう、当該研修用テキストをもとに、当該研修を実施する際に活用できる研修スライ

ド（案）を全国の介護福祉士会で共有を図った。

その結果、新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあったものの、15 道府県介護福祉士会において当該研修が実施された。

#### オ 地域共生社会における介護福祉士の役割に関する研修

国が目指す地域共生社会の理解とともに、高齢者だけでなく障がいのある方に対する支援について知見のある介護福祉士を育成するための研修を、全国の都道府県介護福祉士会で開催できるよう、当該研修の運営マニュアルの共有を図るなどした。

その結果、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、9 都県介護福祉士会において当該研修が実施され、新たに 128 名を超える方が当該研修を修了した。

### ③ 介護福祉士に求められる役割を担保するための研修

#### ア 新たな介護福祉士の役割や養成課程の教育カリキュラムを伝える研修

令和元年度に全国の介護福祉士会において実施いただいた、新カリキュラム対応の介護実習指導研修で使用いただいたコンテンツ等を活用した、当該研修や、介護福祉士の有資格者を対象としたフォローアップ研修の実施を要請した。

他方で、新たな介護福祉士の役割や養成課程の教育カリキュラムを介護福祉士有資格者に周知する等のため、生涯研修体系の軸となる研修である「介護福祉士基本研修」のテキストの改訂の取組を進めた。

#### イ 認定介護福祉士更新研修

認定介護福祉士の資質の維持・向上を図ることを目的として、認定介護福祉士の更新要件のひとつである認定介護福祉士更新研修を企画・実施し、66 名の認定介護福祉士が当該研修を修了した。

## 2 学術研究活動

### (1) 日本介護学会の開催

日本介護福祉士会・全国大会と同時期に、オンライン上で開催した。

### (2) 専門誌「介護福祉士」の発行

会員の学術研究活動を推進するとともに、実践・研究業績を広く周知することを目的として、介護現場におけるケアの質の向上を目指し、「看取り介護」をテーマとした専門誌「介護福祉士No.28」を発行し、全国の都道府県介護福祉士会を通じて全会員及び関係団体等に送付した。

### (3) 調査研究事業

#### ① 就労実態調査の実施

定期的に行っている会員を対象とした就労実態調査を実施した。

今回は、会員の皆さまの仕事と生活のバランス等の実態把握も行ったうえで、報告書のほか、概要版を整理し、ホームページ上で公開した。

## ② その他の調査研究事業

### ア 運営サポーターアンケート

制度政策的な提案等に結びつける取組を推進するため、会員の皆さまに運営サポーターとして登録いただいたうえで、当該者を対象としたアンケート調査を定例調査に追加調査を加え、計7回実施し、結果の整理ができたものからホームページの特設サイトにおいて公表した。

#### (ア) 感染症対策に係る利用者等の行動制限とその影響に関する調査

5月13日(金)～5月27日(金)、N=119/237(50.20%)

#### (イ) 介護現場におけるハラスメントの実態と対応策に関する調査

7月4日(月)～7月18日(月)、N=158/323(48.90%)

#### (ウ) 職場におけるハラスメントの実態と対応策に関する調査

8月1日(月)～8月15日(月)、N=160/345(46.40%)

#### (エ) 日本介護福祉士会倫理綱領に関する調査

8月26日(金)～9月9日(金)、N=142/354(40.10%)

#### (オ) 介護ロボットに関する現在と今後の使用について

10月18日(火)～11月1日(火)、N=201/391(51.40%)

#### (カ) 災害時における介護福祉士の役割と現状確認について

12月9日(金)～12月23日(金)、N=220/434(50.70%)

#### (キ) 介護福祉士の研修等への参加状況とキャリアイメージに関する意識

2月1日(水)～2月15日(水)、N=230/448(51.30%)

### イ 在留資格「介護」に関する実態把握及び活躍支援に向けた調査研究事業

厚生労働省の補助金事業に申請・受託し、わが国の介護現場で活躍されている在留資格「介護」で在留する外国籍介護福祉士の就労の実態把握を行うとともに、その結果を踏まえ、より一層の活躍支援に向けた方策の検討を行い、報告書にまとめるとともに、「外国人介護職員活躍事例集」を作成し、ホームページ上で公開した。

### ウ 各種調査研究への協力

日本循環器協会と連携した「介護職員の方への心不全に関するアンケート」、柘崎京子教授(帝京科学大学医療科学部)と連携した「介護福祉士がかかわる非医行為の内容と困難感に関する調査」などの調査研究への協力を行った。

## ③ 実践・研究業績の情報提供

日本介護学会のホームページにおいて、当会が実施した調査研究事業の成果物や会員等の実践・研究業績のデータベースを追加掲載し、会員等に対し学術研究活動に資する情報提供を行った。

また、当会で実施した調査研究事業の成果物について、対応できる範囲において実費で提供するなどの対応を行った。

## 3 介護福祉の普及啓発に関する事業

### (1) 介護の魅力発信等の取組

広報委員会が中心となり、介護の魅力や価値等を発信することを目的とした動画を開発し、

開発した動画を全国の都道府県介護福祉士会に提供したほか、昨年度に引き続き、介護のあり方の変化に着眼した「タイムリープ」企画を、ホームページ及び機関紙（ニュース）で取り上げるなどの取組を推進した。

## （２）タウンミーティング

全国の都道府県介護福祉士会との連携の下で、オンラインを活用したうえで、会費見直し説明会との同時開催も含め、5道府県（北海道、茨城県、京都府、広島県、福岡県）でタウンミーティングを開催し、あわせて約200人の参加者を得て、種々貴重なご意見を伺うことができた。

## （３）「介護の日」に関する事業等の実施

### ① 全国の都道府県介護福祉士会の取組の支援

全国の都道府県介護福祉士会が「介護の日」や老人の日・老人週間、障害者週間に関する事業を推進できるよう、社会福祉法人全国社会福祉協議会等からの関連情報を全国の都道府県介護福祉士会と共有するなど、全国の都道府県介護福祉士会が行う取組の支援を行った。

その結果、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったが、28都道府県介護福祉士会において、当該取組が行われた。

### ② 映画『つむぐもの』の無料オンライン上映会の開催

多くの国民の皆さまに『介護』について考える機会を提供する目的で、映画「つむぐもの」の無料オンライン上映会を企画し、介護福祉士会員の他、介護福祉士以外の介護職や関連職種の方々を含む国民一般を対象として広報を行い、1,100回を超える視聴となった。

映画	上映期間	開催場所	登録者数
つむぐもの	4.11.5(土)～11(金)	オンライン	1107名

WEBを活用した参加者アンケートでは、多数の回答があり、満足したとする回答が多くを占め、フリーアンサーでは、介護の魅力を再確認した、介護の価値を理解した等の回答があり、好評を得た。

なお、本無料オンライン上映会に向けて撮影した、映画監督と当会会長の対談の動画コンテンツを、映画のアンケート結果とともにホームページに掲載するなどした。

### ③ 介護百人一首

NHK教育テレビ「福祉ネットワーク」で介護の日々を詠んだ「介護短歌」を紹介したことが発端でスタートした本企画の企画協力を行い、介護の日に合わせて入賞作品を発表する等の取組を行った。

## （４）機関紙（ニュース）

6・8・10・12・3月の15日にニュースを発行し、全国の都道府県介護福祉士会を通じて全会員及び関係団体等、有償購読者（介護福祉士養成施設、その他団体・個人）に当該ニュースを送付するほか、ホームページ上で、機関紙（ニュース）の一部を掲載するなどし、介護福祉士の活動や介護福祉を取り巻く環境等について情報提供等を行った

#### (5) 介護福祉士資格の取得を目指す方の支援

全国の都道府県介護福祉士会において、介護福祉士資格の取得を目指す者の支援を行えるよう、介護福祉士会オリジナルの全国統一模擬試験を作成し、全国の都道府県介護福祉士会と協力して、当該模擬試験の全国実施を企画した。

その結果、39 都道府県介護福祉士会において当該模擬試験を行い、1,424 名が当該模擬試験に取り組むなど、介護福祉の普及啓発に結び付けた。

なお、今年度は、解説動画を開発し、実施団体と共有し活用いただいたほか、外国人介護人材が増加していることを踏まえ、問題だけでなく解説についても総ルビを振る等の対応を行った。

### 4 その他の事業

#### (1) 介護人材の掘起し・育成事業

令和元年度に全国老人福祉施設協議会とともに構築した潜在介護福祉士の掘り起こしに係る研修プログラムの実施に向けて、全国老人福祉施設協議会と連携を図った。

#### (2) 外国人介護人材を対象とした取組

介護職種に係る在留資格が複数導入され、わが国における外国人介護人材の受入が進んでいること等を踏まえ、厚生労働省の外国人介護人材の受入れ等をサポートするための事業を受託し、わが国で介護を学ぶ外国人介護人材等の受入れや、当該人材の指導支援等を行うための取組を進めるなどした。

また、外国籍の介護福祉士が増えていること、今後も増加することが見込まれること等を踏まえ、外国籍の会員を対象とした「全国外国籍会員ミーティング」を企画・実施し、8名の参加を得て、外国籍の介護福祉士のサポートの在り方やニーズ等を把握するための取組を進めた。

#### 〔厚生労働省から受託した事業（介護の日本語学習支援等事業）の実績〕

- ・ 外国籍介護人材の自律的な学習のための国際介護人材支援WEBサイト（にほんごをまなぼう）の登録者数 1.5 万人の実現
  - － 日本語能力試験（JLPT・N2レベル）に対応した学習コンテンツの搭載
  - － 登録時のドロップアウトを避けるためのハイライトナビゲーション機能の付加
  - － 各コンテンツの使い方に係るチュートリアル機能の付加
  - － 今後のアプリ化を想定した基本設計（案）の作成
  - － 国際福祉機器展及びバリアフリー展への出展
- ・ これまで開発してきた「介護の特定技能評価試験学習テキスト」「介護の日本語」「外国人のための介護福祉士国家試験一問一答」「外国人のための介護福祉専門用語集」の更なる多言語対応（11 か国語対応）

#### (3) 発災時の災害救援事業

発災時の当会の災害救援のための資金の使い方等について整理するとともに、発災時の介護福祉士会としての取組の在り方等について、全国の都道府県介護福祉士会の担当者を対象とした勉強会を開催するなどした。



#### (4) 助成金事業

全国的に広く展開することが望まれる取組をモデル的に行う事業や、全国的に展開する必要性を確認するための試行的な取組について、助成金を付与する事業を実施することとし、初年度の令和4年度は、2団体からの申請が採択され、2団体による独自の取組が行われ、それぞれ報告書が提出された。

なお、本年度の取組報告を踏まえ、今後、当該取組を日本介護福祉士会としてどう向き合っていくのかについて検討を進める予定とした。

#### (5) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

##### ① 研修管理等のシステムの開発

日本介護福祉士会のほか、全国の都道府県介護福祉士会が共同で利用できる研修管理システムの開発を行い、一部の機能を実装した。

これにより、イーラーニングシステムの活用、研修履歴の管理、研修ポイントの管理のほか、WEBを活用した研修の申込みの道筋をつけた。

##### ② 必要に応じた要望書や声明の発出

###### ア 「底辺の職業」ランキングに対する意見表明

令和4年7月8日。介護職を底辺の職業とした記事がネット上で扱われたことを踏まえ、ランキングに挙げられた全ての職業に対して、その職業の本質的価値を慮ることなく、ネガティブな印象を与える記事には、極めて遺憾であり、掲載社に対し、今回の記事の作成の意図と、発表に至った決定プロセスを明らかにするとともに、ランキングに挙げられた職業に従事する全ての方々に対し、誠意あるコメントの発表を求める旨、意見表明しました。

###### イ 新型コロナウイルスの第7波による感染再拡大に係る意見表明

令和4年8月2日。急激な感染拡大のなか、日夜現場で奮闘している全国の介護福祉士をはじめとする介護・福祉従事者の皆さまに心からの感謝と敬意を表するとともに、施設や在宅の現場において、感染対策用に備蓄している個人用防護具（PPE）をはじめとした衛生用品なども、枯渇してしまう恐れがあることを踏まえ、政府・関係機関に対し、全ての介護・福祉従事者に対し、個人用防護具（PPE）をはじめとした衛生用品や、抗原検査キット及びPCR検査キット等について、安定的且つ速やかに確保できる供給体制の構築を望む旨、意見表明しました。

###### ウ 軽度者への生活援助サービス等に関する在り方に係る要望書

令和4年10月21日。要介護度1・2の方への訪問介護、通所介護を総合事業に移行する見直しに反対する旨を、関係8団体（全国老人福祉施設協議会、全国老人保健施設協会、日本認知症グループホーム協会、日本介護支援専門員協会、日本介護福祉士会、日本ホームヘルパー協会、全国ホームヘルパー協議会、全国社会福祉法人経営者協議会）の連名で要望した。

###### エ 軽度者への生活援助サービス等に関する在り方に係る意見表明

令和4年11月4日。③ウ要望内容について、職能団体としても、明確に反対の意向を表明する必要があると判断し、すべての都道府県介護福祉士会との連名にて、日本介護福祉士会が関係団体と連名で提出した要望書を支持したうえで、改めて、要介護度1・2の方への訪問介護、通所介護を総合事業に移行する見直しに反対する旨、意見表明した。

#### オ 居宅介護支援費、介護予防支援費における現行給付の維持継続に係る要望書

令和4年10月28日。居宅介護支援・介護予防支援が、多様なサービス提供主体により総合的かつ効率的に提供されるためのセーフティネットとして、全ての利用者が公平に過不足なく支援を受けられる環境を維持していくことが重要であることを踏まえ、居宅介護支援・介護予防支援における現行給付の維持継続を求める旨を、関係10団体（日本介護支援専門員協会、全国老人保健施設協会、全国老人福祉施設協議会、日本介護福祉士会、日本認知症グループホーム協会、全国コープ福祉事業連帯機構、『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会、日本在宅介護協会、市民福祉団体全国協議会、JA高齢者福祉ネットワーク）の連名で要望した。

#### カ 施設入所者の死亡事件に係る意見表明

令和4年12月11日。介護福祉士の有資格者による暴力により、施設利用者が死亡するという痛ましい事件が報道されたことを踏まえ、介護福祉士の職能団体として、法令・倫理の順守をあらためて広く呼びかけるとともに、介護福祉士が自律的に研鑽努力する機会を確保し、国民が安心して質の高い介護福祉サービスを受けることが出来る社会を目指すことを約束する旨、意見表明した。

#### ③ 会費見直し説明会の全国実施

令和5年度から日本介護福祉士会の会費（入会金・年会費）を見直すことを踏まえ、全国の正会員の皆さまにその理由や目的等をお知らせするとともに、正会員の皆さまと直接の対話をさせていただくことを目的として、令和3年度末から本年度にかけて、すべての都道府県介護福祉士会と連携し、会費見直し説明会を開催するなどした。

#### ④ パートナー協定締結に向けた調整

日本介護福祉士会と全国の都道府県介護福祉士会による、職能団体としての連携関係を明確化すること、介護福祉士資格を有する正会員の皆さまの権利を守ることを目的として、数年間検討を続けてきたパートナー協定の締結に向けた調整を進め、令和4年度内に、11府県（茨城県、富山県、静岡県、京都府、鳥取県、広島県、山口県、高知県、熊本県、大分県、沖縄県）の介護福祉士会と当該協定の締結を実現した。

#### ⑤ 関係団体等との連携した取組

令和4年度は、日本慢性期医療協会会長や全国老人福祉施設協議会会長との意見交換、日本循環器協会、国立病院機構肥前精神医療センター等と連携した調査研究のほか、日本リハビリテーション医学教育推進機構、日本口腔ケア学会などと連携した取組を進めるなどした。

#### ⑥ 会員専用サイト（ケアウェル）からの声の集約

全国の正会員の皆さまからの直接の意見を集約するため、会員専用サイト（ケアウェル）

の個人サイトに、日本介護福祉士会宛の意見を投稿できる窓口を設置し、いただいた意見については、内容を踏まえ、必要に応じて回答をしたほか、内容に応じて業務執行役員会で取り上げる等の対応を行った。

## 5 各種事業・取組の推進体制

### (1) 関係会議

- ・ 定時総会（1回）
- ・ 定例理事会（2回）
- ・ 臨時理事会（1回）
- ・ 監事監査（1回）
- ・ 内部理事会（1回）
- ・ 常任理事会（臨時回含む）（14回）
- ・ 役職選考会（1回）
- ・ 正副会長会議（13回）
- ・ 介護福祉士の在り方検討委員会（1回）
- ・ 全国都道府県介護福祉士会会長会議（5回）
- ・ 全国都道府県介護福祉士会事務局会議（5回）
- ・ 選挙管理委員会（臨時回含）（5回）

### (2) 各種事業を進めるための委員会・検討部会

#### ① 制度・政策検討委員会

- ・ 正副会長会のほか、随時のオンラインを活用した意見交換等を行い、介護福祉士の職能団体としての考え方の整理等を行った。
- ・ 介護を取り巻く様々な事象を踏まえ、意見表明の内容の調整や、要望書内容の整理・確認等の取組を進め、発信をした。
- ・ 次期介護報酬改定に向けた介護保険部会における論点整理のため、職能団体としてのスタンスの整理や発言趣旨の調整を行った。
- ・ 昨年度に引き続き、広く国民等に対し、介護福祉士の価値を伝えるための、より具体的に、より明確に専門性がつづられた書籍の刊行に向けた取組を進めた。

日時；第1回 令和4年10月28日（金）18時から

開催方法；オンライン

構成員；及川ゆりこ会長、中野朋和副会長、酒井賢一常任理事、森 久紀常任理事、大澤利通（福岡県介護福祉士会）、加藤幸夫（千葉県介護福祉士会）、酒匂淳文（鹿児島県介護福祉士会）、瀧田 淳（富山県介護福祉士会）

#### ア 就労実態調査部会

定期的実施している就労実態調査の調査項目を設定し、アンケート調査を実施したうえで報告書にまとめた。

日時；第1回 令和4年5月23日（月）10時30分から

第2回 令和4年7月6日（水）13時から

第3回 令和4年12月22日（木）19時から

開催方法；オンライン

構成員；柏本英子副会長、安達眞理子前常任理事（兵庫県介護福祉士会）、山城裕美（福岡県介護福祉士会）

#### イ 運営サポーターアンケート運営部会

定例のアンケート調査を実施するためのテーマ設定、調査項目の設定、報告書の検討・整理を行った。

日時；第1回 令和4年4月19日（月）18時から  
第2回 令和4年5月2日（木）18時30分から  
第3回 令和4年5月23日（月）18時30分から  
第4回 令和4年6月20日（月）18時30分から  
第5回 令和4年7月11日（月）18時30分から  
第6回 令和4年8月18日（木）18時30分から  
第7回 令和4年9月12日（月）18時30分から  
第8回 令和4年10月3日（月）18時30分から  
第9回 令和4年11月14日（月）18時30分から  
第10回 令和5年1月23日（月）18時30分から  
第11回 令和5年3月6日（月）18時30分から

開催方法；オンライン

構成員；中野朋和副会長、宮崎則男前副会長（新潟県介護福祉士会）、岡村友美（鹿児島県介護福祉士会）、片川ひろえ（青森県介護福祉士会）、堀口美奈子（群馬県介護福祉士会）、石代由子（静岡県介護福祉士会）

#### ウ LIFEに係る動画の学習コンテンツ検討部会

前年度に引き続き、LIFEに係る動画の学習コンテンツの開発を行い、会員管理システム上に搭載した。

日時；第1回 令和4年4月4日（月）19時から  
第2回 令和4年6月14日（火）19時から  
第3回 令和4年6月23日（木）20時から（ほか）

開催方法；オンライン

構成員；木場圭一前常任理事（宮崎県介護福祉士会）、望月太敦前理事（東京都介護福祉士会）、井口健一郎（神奈川県介護福祉士会）、橘高裕行（広島県介護福祉士会）、杉浦公紀（三重県介護福祉士会）、長太達也（富山県介護福祉士会）

#### エ 医療的ケア・医行為外行為に係る検討部会

日本介護福祉士会としての医療的ケア・医行為ではないと考えられる行為への向き合い方の検討、医行為ではないと考えられる行為の理解を促す取組の在り方等の検討を進め、医行為ではないと考えられる行為の学習コンテンツの開発を進めるなどした。

今後も、継続的に学習コンテンツの開発を進める予定としている。

日時；第1回 令和4年7月15日（金）18時から  
第2回 令和4年8月25日（木）19時から  
第3回 令和4年11月1日（火）19時から

開催方法；オンライン

構成員；中野朋和副会長、望月太敦前理事（東京都介護福祉士会）、柗崎京子（帝京科学大学）、柴野裕子（帝京科学大学）、倉持有希子（東京YMCA医療福祉専

門学校)、荻原真理子(認定介護福祉士、栃木県介護福祉士会)、山本日登美(認定介護福祉士、愛知県介護福祉士会)、小菅恵美(株式会社MC)

#### オ 生産性向上中核人材育成プログラム検討部会

令和4年度当初に生涯研修体系検討委員会に設置したマネジメント研修構築部会及びデジタルテクノロジー検討委員会を統合し、令和5年1月より、当該部会を設置し、生産性向上中核人材育成プログラムの在り方について検討を進めた。

日時;第1回 令和5年1月5日(木)15時から  
第2回 令和5年1月17日(火)18時から  
第3回 令和5年1月18日(水)9時から  
第4回 令和5年2月20日(月)17時から  
第5回 令和5年3月9日(木)16時30分から

開催方法;オンライン(一部集合)

構成員;酒井賢一常任理事、舟田伸司常任理事、宮本隆史(社会福祉法人善光会、東京都介護福祉士会)、原口恭彦(東京経済大学)、光山 誠(社会福祉法人敬英会)

#### カ 介護福祉士の専門性の書籍開発部会

介護福祉士の専門性に係る書籍開発に向けた取組を進めた。

日時;第1回 令和4年4月20日(水)17時から  
第2回 令和4年10月3日(月)18時から

開催方法;オンライン

構成員;及川ゆりこ会長、石本淳也相談役、大島伸一先生(国立長寿医療研究センター名誉総長)、辻 哲夫先生(東京大学高齢社会総合研究機構特任教授)、太田秀樹先生(医療法人アスミス理事長)、太田貞司先生(長野大学社会福祉学部教授)、堀田聰子先生(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授)、八須祐一郎氏(千葉県介護福祉士会)

#### ② 生涯研修体系検討委員会

当年度はオンラインによる委員会を5回開催し、生涯研修の各種課題に係る調整・協議を行うほか、研修管理システムの在り方の協議、各種勉強会等の開催に向けた協議などを行った。

日時;第1回 令和4年6月6日(月)10時から  
第2回 令和4年7月11日(月)10時から  
第3回 令和4年9月26日(月)10時から  
第4回 令和5年1月23日(月)14時15分から  
第5回 令和5年3月20日(月)10時から

開催方法;オンライン

構成員;黒木翔一郎常任理事、酒井賢一常任理事、長太達也(富山県介護福祉士会)

#### (ア) 人材開発支援助成金の申請サポートに係る勉強会

日時;令和4年8月29日(月)13時から

開催方法;オンライン

対象者;都道府県介護福祉士会研修担当役員ほか関係者

講師；鹿野真朱美（認定介護福祉士、長野県介護福祉士会）

**（イ）オンライン研修の受講ルールなど勉強会**

日時；令和4年11月30日（水）18時30分から

開催方法；オンライン

対象者；都道府県介護福祉士会研修担当役員ほか関係者

講師等；オンライン研修の受講ルールと研修運営上の対応等（羽山政弘・山本武文・坪坂晶悟（北海道介護福祉士会）

ZOOM上でのホワイトボードの使い方（酒井賢一常任理事）

Y o u t u b e によるライブ配信の仕方（日本介護福祉士会事務局）

**（ウ）評判の良かった研修会の勉強会**

日時；令和4年12月20日（水）15時から

開催方法；オンライン

対象者；都道府県介護福祉士会研修担当役員ほか関係者

講師等；ネクストリーダー養成研修（石本淳也相談役（熊本県介護福祉士会））

プリセプター養成研修（舟田伸司常任理事（富山県介護福祉士会））

行動援護従事養成研修・障害者支援のための研修会（田中 努（大分県介護福祉士会））

**ア マネジメント研修構築部会**

小規模な介護職チームのリーダーを育成するファーストステップ研修と認定介護福祉士養成研修を繋ぐ、リーダーに求められるマネジメント力を培うマネジメント研修（仮称）のプログラムの検討を進めたが、政府の動きを見据え、本部会とデジタルテクノロジー検討委員会を統合することとし、生産性向上中核人材育成プログラム検討部会に本機能を移行した。

日時；第1回 令和4年5月9日（月）10時から

第2回 令和4年6月21日（火）15時から

第3回 令和4年7月28日（木）14時から

第4回 令和4年8月30日（火）14時から

第5回 令和4年9月27日（火）10時から

第6回 令和4年11月10日（木）10時から

開催方法；オンライン

構成員；酒井賢一常任理事、石本淳也相談役、雑賀正志（茨城県介護福祉士会）

**イ 介護福祉士基本研修テキスト見直し検討部会**

現行の基本研修テキストに、2017年に見直された『求められる介護福祉士像』が盛り込まれていないこと等を踏まえ、当該テキストの見直しの検討等を進めた。

日時；第1回 令和4年6月10日（金）10時から

第2回 令和4年6月30日（木）16時から

第3回 令和4年8月24日（水）10時から

第4回 令和5年3月1日（水）18時30分から

開催方法；オンライン

構成員；黒木翔一郎常任理事、木場圭一前常任理事（宮崎県介護福祉士会）、白井孝

子（東京福祉専門学校）、竹田幸司（田園調布学園大学、東京都介護福祉士会）、田尻亨（全国ホームヘルパー協議会、熊本県介護福祉士会）、望月太敦前理事（東京都介護福祉士会）

#### ウ 障害研修部会

介護福祉士を対象とした障害分野の研修の在り方に係る検討を進めた。

日時；第1回 令和4年10月31日（月）18時30分から

第2回 令和4年11月16日（水）18時30分から

開催方法；オンライン

構成員；黒木翔一郎常任理事、酒井賢一常任理事、望月太敦前理事（東京都介護福祉士会）、田中 努（大分県介護福祉士会）

#### エ 介護過程の展開力醸成方策検討部会

介護福祉士の介護過程の展開力を醸成するための方策の検討を行った。

日時；第1回 令和4年8月18日（木）10時から

第2回 令和4年9月20日（火）18時30分から

開催方法；オンライン

構成員；黒木翔一郎常任理事、酒井賢一常任理事、杉浦公紀（三重県介護福祉士会）、金山峰之（千葉県介護福祉士会）

#### ③ 認定介護福祉士認証・認定機構運営委員会

令和4年度に、新たに一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構の機能が移行したことを踏まえ、認定介護福祉士認証・認定機構が所掌する事業の他、機構を運営するために設置した当該運営委員会において、研修認証申請の承認や認定介護福祉士の認定に係る協議、認定介護福祉士の仕組みの推進策の検討等を行った。

日時；第1回 令和4年5月11日（水）書面審査

第2回 令和4年8月3日（水）10時から

第3回 令和4年9月5日（月）書面審査

第4回 令和4年10月20日（木）書面審査

第5回 令和5年3月23日（木）10時30分から

開催方法；オンライン又は書面審査

構成員；大島伸一（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター）、及川ゆりこ会長、太田貞司（長野大学）、栃本一三郎（放送大学）、朝倉京子（東北大学）、阿部節夫（「民間事業者の質を高める」一般社団法人全国介護事業者協議会）、伊藤優子（龍谷大学短期大学部）、石本淳也相談役、酒井賢一常任理事、鈴木 乃（認定介護福祉士、東京都介護福祉士会）、鈴木よし子（認定介護福祉士、長野県介護福祉士会）、諏訪 徹（日本大学）、野田由佳里（公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会）、八須祐一郎（認定介護福祉士、千葉県介護福祉士会）平川博之（公益社団法人全国老人保健施設協会）、本名 靖（社会福祉法人本庄ひまわり福祉会）、宮島俊彦（岡山大学）、宮島 渡（全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会）本永史郎（社会福祉法人全国社会福祉協議会全国社会福祉法人経営者協議会）、山田尋志（NPO法人介護人材キャリア開発機構）

#### ア 認定介護福祉士研修認証部会

認定介護福祉士養成研修に係る研修認証審査及び認証基準に係る検討を行った。

日時；第1回 令和4年9月5日（月）10時から

第2回 令和5年4月4日（火）13時から

開催方法；オンライン

構成員；栃本一三郎（放送大学）、酒井賢一常任理事、柴山志穂美（神奈川県立保健福祉大学）、諏訪 徹（日本大学）、谷口敏代（島根県立大学）、本名 靖（社会福祉法人本庄ひまわり福祉会）、山田尋志（NPO法人介護人材キャリア開発機構）

#### イ 認定介護福祉士認定部会

認定介護福祉士の認定審査及び更新の在り方等に係る検討を行った。

日時；第1回 令和4年8月22日（月）18時から

第2回 令和5年3月31日（金）10時から

開催方法；オンライン

構成員；太田貞司（長野大学）、及川ゆりこ会長、伊藤優子（龍谷大学短期大学部）、諏訪 徹（日本大学）本名 靖（社会福祉法人本庄ひまわり福祉会）

#### ④ 認定事業推進委員会

認定介護福祉士養成研修の普及促進策の検討を進めるとともに、そのために必要な規程の整備に向けた取組を進めた。

日時；第1回 令和4年5月24日（火）19時から

第2回 令和4年6月29日（水）19時から

第3回 令和4年9月30日（金）19時から

第4回 令和5年1月12日（木）19時から

第5回 令和5年2月27日（月）17時から

開催方法；オンライン

構成員；柏本英子副会長、黒木翔一郎常任理事、酒井賢一常任理事、鹿野真朱美（認定介護福祉士、長野県介護福祉士会）、伊藤優子（龍谷大学短期大学部）、諏訪 徹（日本大学）、本名 靖（社会福祉法人本庄ひまわり福祉会）

#### ア 認定介護福祉士養成研修認証基準検討部会

認定介護福祉士養成研修に係る研修認証基準の適正化を図ること等を目的として、当該基準の見直しに向けた検討を進めた。

日時；第1回 令和4年11月29日（火）19時から

第2回 令和5年3月1日（水）19時から

開催方法；オンライン

構成員；柏本英子副会長、酒井賢一常任理事、伊藤優子（龍谷大学短期大学部）、柴山志穂美（神奈川県立保健福祉大学）、諏訪 徹（日本大学）、谷口敏代（島根県立大学）、本名 靖（社会福祉法人本庄ひまわり福祉会）、山田尋志（NPO法人介護人材キャリア開発機構）

#### ⑤ 学術推進委員会

研修倫理審査会の設置のほか、日本介護学会の在り方等について検討を進めるほか、日本介護福祉学会と連携した学術推進策等について検討を進めた。



日時；第1回 令和4年7月5日（火）19時から  
第2回 令和4年11月2日（水）19時から  
第3回 令和5年3月2日（木）19時から

開催方法；オンライン

構成員；柏本英子副会長、望月太敦前理事（東京都介護福祉士会）、鈴木俊文（静岡県立大学短期大学部）、高橋幸裕（尚美学園大学）

#### ア 専門誌編集部会

専門誌「介護福祉士」のテーマ設定、企画のコーディネート等を行った。

日時；第1回 令和4年6月10日（金）17時から  
第2回 令和4年7月14日（木）14時から

開催方法；オンライン（一部集合）

構成員；柏本英子副会長、望月太敦前理事（東京都介護福祉士会）、黒澤貞夫（日本生活支援学会会長）

#### ⑥ 広報委員会

日本介護福祉士会の広報機能の強化策を検討するとともに、具体的な取組を進め、ニュースの全面改定の方針を固めるとともに、動画コンテンツの開発等を行うなどした。

また、各委員会との連携により、今後の広報戦略の道筋を整理した。

日時；第1回 令和4年4月6日（木）14時30分から  
第2回 令和4年6月27日（月）17時から  
第3回 令和4年8月30日（火）17時から  
第4回 令和4年9月26日（月）17時から  
第5回 令和4年11月28日（月）17時から  
第6回 令和5年1月23日（月）17時30分から  
第7回 令和5年3月15日（水）18時から

開催方法；オンライン

構成員；吉岡俊昭常任理事、森 久紀常任理事、池田晶子（宮崎県介護福祉士会）、大草 亮（石川県介護福祉士会）、山畑晋也（静岡県介護福祉士会）

#### ア 30周年記念企画部会

日本介護福祉士会の創立30周年を見据えた企画の整理等を行い、ロゴ・キャラクターの募集企画や特設サイトの設置に向けた検討・取組を進めた。

日時；第1回 令和4年8月17日（水）18時30分から  
第2回 令和4年9月28日（水）18時30分から  
第3回 令和4年11月21日（月）17時から  
第4回 令和5年2月13日（月）17時から

開催方法；オンライン

構成員；森 久紀常任理事、黒木翔一郎常任理事、吉岡俊昭常任理事

#### ⑦ 組織強化委員会

会費見直しを目の前に控え、会員の入退会の状況の確認をしたうえで、入会促進及び退会抑制の方策等について検討を進めつつ、日本介護福祉士会としてできることの取組を進めた。

- 日時；第1回 令和4年5月20日（金）14時から  
第2回 令和4年7月15日（金）14時から  
第3回 令和4年8月19日（金）16時から  
第4回 令和4年9月29日（木）14時から  
第5回 令和4年12月1日（木）16時から  
第6回 令和5年2月22日（水）15時から

開催方法；オンライン

構成員；中野朋和副会長、宮崎則男前副会長（新潟県介護福祉士会）、伊藤浩一（茨城県介護福祉士会）、渡部幸雄（秋田県介護福祉士会）

#### ア We Are 日介 2022 ミーティング～日本介護福祉士会の未来～

日時；令和4年11月25日（金）13時30分から

開催方法；オンライン

対象者；入会から2・3年程度の正会員

講師；及川ゆりこ会長

司会・ファシリテーター；中野朋和副会長、宮崎則男前副会長（新潟県介護福祉士会）、伊藤浩一（茨城県介護福祉士会）、渡部幸雄（秋田県介護福祉士会）

#### イ インボイス制度の説明会

日時；令和5年3月1日（水）10時から

開催方法；オンライン

対象者；都道府県介護福祉士会事務局関係者

講師；TOMA税理士法人（眞柄氏）

#### ウ 組織強化委員会意見交換会

日時；令和5年3月20日（月）16時から

開催方法；オンライン

対象者；都道府県介護福祉士会組織強化担当役員など関係者

司会・ファシリテーター；中野朋和副会長、伊藤浩一（茨城県介護福祉士会）、渡部幸雄（秋田県介護福祉士会）

### ⑧ 倫理委員会

倫理綱領が宣言されてから約30年が経過したことを踏まえ、全国の都道府県介護福祉士会を対象としたアンケートを行うなど、倫理綱領に改めて向き合う取組を進めつつ、倫理綱領の見直しの必要性等について検討を進めた。また、全国の介護福祉士会における倫理委員会と苦情相談窓口の推進策や、全国での倫理研修実施の推進策等について協議を行うなどした。

日時；第1回 令和4年4月4日（月）18時から

第2回 令和4年6月22日（水）17時30分から

第3回 令和4年8月22日（月）17時から

第4回 令和4年10月4日（火）17時から

第5回 令和5年3月20日（月）18時から

開催方法；オンライン

構成員；酒井賢一常任理事、吉岡俊昭常任理事、風晴賢治前常任理事（青森県介護福祉士会）、永嶋昌樹前常任理事（東京都介護福祉士会）、三井早苗前理事（香川県介護福祉士会）

#### ⑨ 災害対策検討委員会

全国の介護福祉士会で災害基本研修を進めていただくため、発災時の日本介護福祉士会の災害救援のための資金の使い方や、研修の開催の手引きを整理するとともに、当該研修で活用できるパワーポイントのスライド集の見直しを行い、全国の都道府県介護福祉士会と共有するなどした。

日時；第1回 令和4年7月15日（金）17時から  
第2回 令和4年10月14日（金）17時から  
第3回 令和4年11月25日（金）16時から  
第4回 令和4年10月4日（火）17時から  
第5回 令和5年2月20日（月）17時から

開催方法；オンライン

構成員；舟田伸司常任理事、中野朋和副会長、井川義伸前理事（愛媛県介護福祉士会）、佐藤晋作（岩手県介護福祉士会）

#### ア 災害担当者における勉強会

日時；令和4年12月19日（月）14時から

開催方法；オンライン

対象者；各都道府県介護福祉士会の災害担当者

講師等；行政説明（本間 隆（厚生労働省））

災害ボランティア研修基本コンテンツ（中野朋和副会長）

事例報告（佐藤晋作（岩手県介護福祉士会））

司会；井川義伸前理事（愛媛県介護福祉士会）

#### ⑩ デジタルテクノロジー検討委員会

人材不足が深刻化するなか、介護サービスの質を担保するためには、デジタル・テクノロジーを活用することは欠かせないが、デジタル・テクノロジーについてわからないことが、介護現場を担う介護職員の不安の声につながっている。この課題を解決するため、①デジタル・テクノロジーに対する介護現場の不安を払しょくすることと併せ、②介護サービスの受益者を最優先で考える介護福祉士を、介護現場におけるデジタル・テクノロジー活用の中核的役割を担う人材とすることが重要である、との対応方針（令和4年第2回全国都道府県介護福祉士会会長会議）を踏まえ、当該課題を解決するための対応方策等について検討を進めた。

そのうえで、政府の動きを見据え、本委員会とマネジメント研修構築部会を統合することとし、生産性向上中核人材育成プログラム検討部会に本機能を移行した。

日時；第1回 令和4年7月15日（金）17時から  
第2回 令和4年10月14日（金）17時から  
第3回 令和4年11月25日（金）16時から

開催方法；オンライン

構成員；舟田伸司常任理事、宮崎則男前副会長（新潟県介護福祉士会）、宮本隆史（社会福祉法人善光会、東京都介護福祉士会）

ア 介護現場のデジタル・テクノロジー活用入門セミナー（介護ロボット導入はだれのため？）

日時；令和4年10月7日（金）18時30分から

開催方法；オンライン

対象者；各都道府県介護福祉士会の介護ロボット等担当者など

講師等；デジタル・テクノロジー活用ミニ講座（宮本隆史（社会福祉法人善光会、東京都介護福祉士会）

運営サポーターアンケートへの回答（舟田伸司常任理事、宮崎則男前副会長（新潟県介護福祉士会）、宮本隆史（社会福祉法人善光会）

以上